



《発行所》
 若葉台
 第一住宅管理組合
 坂戸市千代田4丁目7番30号
 電話 049-283-7950
 メール:kanri@wakaba1.com
 http://www.wakaba1.com/



住民で守る 緑のある生活

植栽部と植栽協力員の力になる

副理事長 富田 要

植栽協力会の成り立ち
 私が理事の推薦を受けたのが西暦2000年(平成12年)20世紀最後の年でした。まだ現役ばかりの55才で、丁度時代が20世紀から21世紀へと変化。それから今日に至る迄何か理事として活動しています。後先他にはおりません。今から13年前の植栽の環境即ち維持管理は殆どJS任せて年間の決算額も1300万円程に成っていました。既に20年が経過し樹木も成長、幹や枝も太く密集し日照や通風・防犯等に支障をきたし景観も決して良い状態ではありませんでした。

これ以上悪化させる訳にはいかないとの思いで当時の植栽部長(故菅嶋氏)を中心にいろいろな智慧を絞り協力会を立ち上げるに至りましたが、当初は植栽理事を含めて総勢10名ならず、剪定に必要な作業道具や機械の使用もままならない状態でした。最初から人が集まる訳もなく道具類も同じ。当時は理事も現役が多く協力会に入る方はいませんでした。このままでは予算の削減も、絵に書いた餅に成ってしまうと思ひ独自の規約をもうけました。植栽部を退任する理事は自動的に協力会に加入の事、それが功を

奏し、又定年と重なる人もあり徐々に協力員さんが増して行きました。その間スキルアップを計る為植栽管理等各種講習会に参加、又植栽に係わる書籍を購入いろいろ勉強もしました。
 苦節13年
 今では協力会も充実、毎日日曜日の人が増えたから?作業日には常時20名前後の方が参加し和気合々楽しみながら作業をしています。年月と

00万円程、会の発足から13年当時よりさらに幹や枝もより太く大きく成長。伐採や剪定、芝刈り等全てを業者に委託すると現状の2・5倍(2000万円)は掛かるの



00万円程、会の発足から13年当時よりさらに幹や枝もより太く大きく成長。伐採や剪定、芝刈り等全てを業者に委託すると現状の2・5倍(2000万円)は掛かるの

ではと思っています。これら経費の削減が計れたのも植栽協力会のお陰と感謝している次第です。私が植栽に席を置いて一番良かったと感じる事は集会所南庭の改修即ち造園です。それ迄は防風林があり樹木も生い茂り風通しが悪く、特に和室は薄暗くかびくさく何とかしなければと思っていました。運良く集会所の増設工事が行われ、その後造園作りに着手する事が出来ました。

出来る範囲でさつきやつじの移植も行い、最後に業者に築山風に土盛補植(枝垂桜、枝垂梅)を依頼し、3月末完成の運びとなりました。植栽の維持管理を疎かにするとただの雑木林となる。因みに住宅も同様でスラム化します。と言う事で住環境の良し悪しは、建物もさる事乍ら植栽も樹木の成長度合を見ながら剪定や伐採間引き等行う事が重要と考えています。何しろ高木が1500本、中低木(生垣)地被を含めると一万本もあり適宜行う必要があるのです。現在2期目の修繕工事(設備)が行われていきます。遅ればせ乍ら自転車置き場の工事も始まる予定で何本か伐採の対象になっています。又、今迄の工事に依り生垣等が伐採や立ち枯れ等発生していますが、来春以降、補植する予定です。植栽協力会は団地を大きな庭と捉え、整姿剪定、伐採等、維持管理に務め景観の保持を約束致します。最後に高齢化が進みつつある現状を踏まえ若い方の参加を切に望みます。特にお酒の好きな方、いらっしやい!!

めて4~5年は居住者皆様の理解が得られず、何処の業者?、機械の音がうるさいなど。又昼食事に昼間から酒を飲んで云々、今は笑い話ですね。現在では居住者から認知されたと思っ

てはと思っています。これら経費の削減が計れたのも植栽協力会のお陰と感謝している次第です。私が植栽に席を置いて一番良かったと感じる事は集会所南庭の改修即ち造園です。それ迄は防風林があり樹木も生い茂り風通しが悪く、特に和室は薄暗くかびくさく何とかしなければと思っていました。運良く集会所の増設工事が行われ、その後造園作りに着手する事が出来ました。

出来る範囲でさつきやつじの移植も行い、最後に業者に築山風に土盛補植(枝垂桜、枝垂梅)を依頼し、3月末完成の運びとなりました。植栽の維持管理を疎かにするとただの雑木林となる。因みに住宅も同様でスラム化します。と言う事で住環境の良し悪しは、建物もさる事乍ら植栽も樹木の成長度合を見ながら剪定や伐採間引き等行う事が重要と考えています。何しろ高木が1500本、中低木(生垣)地被を含めると一万本もあり適宜行う必要があるのです。現在2期目の修繕工事(設備)が行われていきます。遅ればせ乍ら自転車置き場の工事も始まる予定で何本か伐採の対象になっています。又、今迄の工事に依り生垣等が伐採や立ち枯れ等発生していますが、来春以降、補植する予定です。植栽協力会は団地を大きな庭と捉え、整姿剪定、伐採等、維持管理に務め景観の保持を約束致します。最後に高齢化が進みつつある現状を踏まえ若い方の参加を切に望みます。特にお酒の好きな方、いらっしやい!!

文字摺草

日本列島は色々な断層の座布団の上にある。手足を伸ばしあぐびをされたら大変!! 南海トラフ巨大地震が起きると最大32万人の死者。帰宅難民660万人。考えられない数字。早速防災リュック点検。「カンパン賞味期限切れ、配布された携帯トイレ入れ」。お年寄りには釣りのベストを利用。色々なサイズのポケットに防災グッズ、古い老眼鏡を入れると1kg入る。両手が使えるのでとても便利と放映されていきました。

地区防災訓練の際、何か起った時、①自助・自分の命は自分で守る。②共助・共に声かけ合い助け合う。③公助・行政の助けがあると説明があり。共助は普段のコミュニケーションが大切。正に夏祭りはコミュニケーションの場。我が子の走る姿を目で追い乍らママさん達のお喋り、ビール片手に孫談義、話に花が咲いている風景。団地の色々な行事に参加して、コミュニケーションを計りましょう。来年の夏祭り、楽しみにしています。(幸)

現在の規約等の見直し

規約委員会 佐藤健次

今年度の規約検討委員会は、理事会からの諮問事項（8月1日発行わかば146号に掲載）を中心に、管理規約、各細則及び規程について必要な改正の準備を進めてい

ます。各改正案の作成は、委員会内に設けた少人数の作業部会、或いは、理事会において原案（叩き台）を準備したうえで、毎月

の全体会合（規約委員会）でその案を審議決定する形で行っています。

委員会発足後、10月6日までに4回の規約委員会が見え、改正の概要が、現在までの検討内容および今後の予定等について、組合員並びに居住者の皆様へご報告申し上げます。

◎管理規約に関する主な改正点

・サッシ、排水管等改修工事の完了に合わせて各戸の専用排水管や網戸等の各設備について、専有部分（個人の所有物）か、共用部分（棟全員の共有物）のものを改めて区

の制定に合わせて、同関係者への住宅の譲渡や賃貸を未然に防止するため必要な改正を行います。

◎専有部の修繕に関する細則の主な修正点

・アルミサッシ、玄関ドア改良工事が終了し、今後は二重窓への改修や玄関補助錠の追加設置に関する施工基準が不要となりますので、現行細則から該当箇所を削除します。

・将来、ユニットバスを新設して浴室排水管を更新する場合等の配管接続方法や推奨する配管材料、旧排水口の処理法等を追



加します。

◎自転車置場運営細則の見直しについて

この細則は、来年、平成25年4月1日から施行予定で未実施のもので

すが、当委員会でも再検討の結果、i)管理規約と重複する第3条、第11条の削除、ii)第9条（強制撤去等）をより分り易

くするために3項に区分して記載する、iii)第8条を利用規則に変更して

の条文修正を行います。今後の予定

②棟長会、棟会議等設置運営細則の改正案検討や、当組合の規約集である『暮らしのルール』に掲載

状況と多少差異が生じている点もあり、該当箇所

の条文修正を行います。今後の予定

『暮らしのルール』に掲載するために、団地への入居時、退去時等の主な手

震度6強の地震を仮定 防災訓練を実施

9月9日（日）坂戸市総合防災訓練が実施されました。当団地は、役員・棟長・防災委員・民生委員・児童委員を対象に独自に行うことで事前に連絡がされていました。7時50分、震度6強の地震が発生したと仮定、市の防災無線から緊急地震速報の訓練放送が流れまし

た。当該者はそれを機に家族の安全と火の始末を行って集会所に集合し、若葉台第一住宅自主防災規程に基づく役割分担など芦田自主防災会会長から説明がありました。



・地震はいつ発生するか予測が出来ない
・災害が発生した時は「自

分の安全は自分で守る」事が大原則
・家族みんなの防災意識を高め、各人の役割分担や、連絡方法を確認するなどこの機会に是非話し合うことのすすめなど日頃からの心がけが大切であることを提起されました。実際に起きたらマニュアルどおりには動けないこと、家具の転倒防止や平日なら大人たちは外に出ており、子どもたちや高齢者のお年寄りが困らないようにしておき、被害を小さくすることが必要であることを強調されました。そのためにも、自助・共助・公助の精神を忘れないようにしまし

よう。ご承知のように当団地としては暮らしのルールに防災の組織図を規定し、災害時は理事長を本部長としています。自

分の役目を確認しておきましょう。

その後、当団地のライフライン（電気・ガス・水道）の現場を確認、初めて知った方たちが多かったようです。集会所に戻り意見交換をしました。出された意見の中で「実際に災害が起きた時、誰がリーダー的な役割をするか、現時点では分かりにくい、誰もが分かるようにしてはどうか」がありました。当面は自分の身と家族の安全確認後役目につくことになっていきます。ライフラインを見学している間、集会所に残った女性陣は炊き出しの練習として災害対策品の「アルファ米の非常食」を実際にやってみました。最後に参加者に試食として配布、全居住者には「非常用トイレ」を配付し、訓練を終了しました。



若葉子ども見守り隊

26号棟 若宮俊一郎

さつき賞受賞

団地の夏祭りの時に表彰式が行なわれ、会場に居合わせた見守り隊のメンバーが舞台上がって、市長より賞状が授与されました。さつき賞は身近なところで



「うん、こころのノートに書いているの！」と素敵なお答え。当意即妙と云うべきか、無邪気な賢さと可愛らしさに思わずメロメロとなつてしまいました。子ども見守り活動は、出来るだけ多くの目で見守ると更に効果が上がります。ぜひ多くの方に参

加して頂きたいと思っております。参加したいと思う方は、見守り隊長の26号棟1102号室の若宮までご連絡下さい。電話は、283-8328です。宜しく、お願いします。

「あなたはいつも見るアリスさんだから、あなたの名前はイツアリスさんね。」と蟻に向かって話しかけている。「おもしろいね。いつもそんなことを考えているの？」と尋ねたら、

「うん、こころのノートに書いているの！」と素敵なお答え。当意即妙と云うべきか、無邪気な賢さと可愛らしさに思わずメロメロとなつてしまいました。子ども見守り活動は、出来るだけ多くの目で見守ると更に効果が上がります。ぜひ多くの方に参

加して頂きたいと思っております。参加したいと思う方は、見守り隊長の26号棟1102号室の若宮までご連絡下さい。電話は、283-8328です。宜しく、お願いします。

地道に住み良い地域社会実現の為に活動を続けている個人・団体を表彰するものです。私達は南小の子どもたちの登下校を、それぞれの学年の登下校時間帯に合わせて毎日見守っています。顔見知りになった子ども達が日々成長して行く様を見るのは楽しいものです。夏休み前後でアレツと思うほど背が伸びている子、やんちゃで手に負えなかつた子が徐々に分別をわかまえるようになって行く様子、卒業して中学生・高校生になった今も挨拶を交わす子など自分の子育ての時とは違った新鮮な喜びがあります。でも、やはり一番可愛いのは小学一年生の子ですね。小さな身体に大きなランドセルを背負った女の子が、道端の草むらの

「あなたはいつも見るアリスさんだから、あなたの名前はイツアリスさんね。」と蟻に向かって話しかけている。「おもしろいね。いつもそんなことを考えているの？」と尋ねたら、

「うん、こころのノートに書いているの！」と素敵なお答え。当意即妙と云うべきか、無邪気な賢さと可愛らしさに思わずメロメロとなつてしまいました。子ども見守り活動は、出来るだけ多くの目で見守ると更に効果が上がります。ぜひ多くの方に参

加して頂きたいと思っております。参加したいと思う方は、見守り隊長の26号棟1102号室の若宮までご連絡下さい。電話は、283-8328です。宜しく、お願いします。

「あなたはいつも見るアリスさんだから、あなたの名前はイツアリスさんね。」と蟻に向かって話しかけている。「おもしろいね。いつもそんなことを考えているの？」と尋ねたら、

「うん、こころのノートに書いているの！」と素敵なお答え。当意即妙と云うべきか、無邪気な賢さと可愛らしさに思わずメロメロとなつてしまいました。子ども見守り活動は、出来るだけ多くの目で見守ると更に効果が上がります。ぜひ多くの方に参

加して頂きたいと思っております。参加したいと思う方は、見守り隊長の26号棟1102号室の若宮までご連絡下さい。電話は、283-8328です。宜しく、お願いします。

突然のコミニティ部長!! 「自分なりに役割を果たしたい」

コミニティ部長 五十嵐 力

この団地には開設当初から住んできた。仕事に忙しいまま地域との関わりは殆どなく、休日にソフ

トボールに関わり、審判の仕事をしてきた。これは10年以上続いた。その間棟長は2回まわってきたが、理事は初めてのこ

とだ。最初の頃は積極的な方がいてその方たちにお任せの感じだった。

何時の頃からか仕事を理由にやる人がいなくなり抽選という方法を取るようになった。今回は当た

りくじという不運と思つて受けることになった。これまで理事会には殆ど

関心もなく、毎月の理事会だよりもわかばも斜めに読むという感じでした。それでも今回の大規模修繕が提案された時は身近

なことなので、説明会など出席するようになった。理事になったことを大変なこととは思わなかった。担当の希望もコミニティ部を安易に希望した。それがそもそもの始まりで、

副部長を引き受けてしまったことから思いもかけないことが始まった。6月のある日コミニティ部会で松尾部長から「福岡に配転が決まり部長を続けることが出来なくなつた。この中で部長を決めてほしい」と提起された。何時もの感じでその場が進んでいたが、一瞬凍りついた。誰が受けるか話し合いが続いたが、現役の人たちは仕事を優先せざるをえないということ

で、副部長である自分と白羽の矢が・・・。経験もなく年齢的な心配もあつたが、協力を惜しまないからという言葉に断ることが出来ず受けることになった。その日から夏祭りの準備の打合せが待っていた。夏祭りはこの団地の最大のイベントだ。全体を描けないまま経験豊かな準備委員の手を借り口を借り、2ヶ月近く準備にかかつてきた。その間にラジオ体操、徒渉池の開放と気を抜

ない行事が続いた。この中で徒渉池で遊ぶ子どもたちの喜ぶ声は心が和んだ。夏祭り当日は、自分の役割を果たすのに夢中で楽しむゆとりはなかつ

た。総括会議での発言などから無事成功しているという気持ちになった。部長としては一年生、現職中に経験したことがないことばかり、地域のお役

えない程一生懸命カゴをめぐらせて投げ入れます。60歳以上の方々が参加できる「パン喰い競争」と子どもたちが対象の「菓子取り競争」が最後の競技となりました。焼き立てパンをめがけ足元の悪さを意識して慎重に進む大人たち、ぬかるみに怯えることなく走るエネルギー溢れる子どもたち。テントに漂うパンの香りとお菓子の袋を開ける音が、チョットの間に、雨を忘れさせてくれました。残念ながら、参加者の熱意も雨には勝てず、一等賞品のお米10キロが当選者に手渡された抽選会を最後に、12時頃に閉会となりました。今年こそ地区優勝を勝ち取る

うと、コミニティ部が中心になり精鋭たちを揃えて準備しましたが、来年に持ち越しとなり、「勝つかレー」は団地の集会所でいただき終わりました。お疲れ様でした。

(広報部 佐藤 薫)



市民が入場門に集まります。60歳以上が挑戦する「ホールインワン」が最初に行われました。次は、体育祭の定番、「玉入れ」です。幅広い年齢の参加者たちは、カゴに入りそ

こなつた玉を繰り返し拾って、終了の合図が聞こ

住民手づくりの夏祭り

今年も盛大に終わる!

今年の夏祭りも夏休み最後の8月25日(土)無事終わりました。準備委員会を立ち上げたのは6月末、出店者、出演者、協力者の募集から始まり当日に向けた準備が進め

翌日の後片付けも協力いただき、盛り上げる事が出来ました。手作りにこだわり、昨年よりはいものをと持ち前のパワーと経験が生かされ、祭り前日にはほぼ準備は完了しました。当日も連日続いた酷暑とはいえ、11時自治会長の開会宣言により始まりました。模擬店は個人や協力者の出店が6店、キッズコーナーなど直営店が6店の計

12店、その他26号棟山口様提供のプラレールと会場は子どもたちが興味を惹くものばかりです。子どもたちは待ち切れず続々と来場してきました。催しものは少しずつ様変わりしながらも昨年とほぼ同じで、一年間の成果が披露されました。何と多量の人たちに思い出を残してくれた長い一日は終わりました。

(広報部 佐藤公子)

直営店

焼き鳥一本に

思いを込め

植裁部副部長 佐藤 浩
私が理事を受けて2年目、焼き鳥担当も2年目、初年度は5000本の全てをどうしたら完売できるか、正直言って不安で

した。しかし夜8時前に完売出来たこと大変嬉しく協力いただきました皆様感謝でした。今回は機械での試し焼きも行い、温度設定も決め万全の態勢で臨み順調に進んだように思われました。でも落とし穴がありました。焼き鳥のタレが少ないので「タレを下さい」の声

があり、あわてて修正した次第でした。焼き方にも工夫をしてトレーにアルミホイルをひいてサラダ油を塗り、肉がトレーにつかないようにいろいろ頑張り4500本を夜7時30分に完売、男性技術者、女性軍のパワーにお礼を申しあげます。お疲れ様でした。

テニス倶楽部

出店願末記

17号棟 樋口 仁

例年のくそ暑さに加え、倶楽部員の老齢化による肉体疲労が激しく、厳しい一日でした。何せ焼そば120キロ700人分、今年から追加したイカ200杯、ウインナー1100本、他にホットドックまでとそらの飲食店なみのメニュー。近くで売っていた聖なる麦酒を補充しながら頑張りました。毎食食材、容器等の依頼から始まり、祭り一週間後の打上げを

餌にした人の手配、そして当日の汗だくになって焼く鉄板70回分の苦行がある訳です。しかしこの焼きそばは美味しいが定着し、新メニューのイカも思いの外、皆さんに好評で感謝感謝です。加えて子どもの数が以前と比べて増えてきたようなので、その点でも嬉しい限り。来年もパワーアップして頑張りたい気分です。と書く他の倶楽部員のヒンシユクをかうかも・・・。



元気が出る

キッズコーナー

15号棟 山川 浩文

雨の心配もなく楽しかった夏祭りもアツと言う間に終わりました。今年には特に開店前から子どもたちが並びだし、閉店まで切れ目がなく忙しかつたのですが、それでも射的を担当された皆様は童

心に帰って休むことも忘れ頑張っているのが印象的です。また折角準備委員が苦勞して集めて下さった賞品を子どもたちにもまんべんなく配れなくて良い賞品が残ったのが残念でした。的を何か工夫すればいいのではないかと思います。これも私

の贅沢な悩みです。振り返って見れば見るほど、ただ子どもたちと騒いでいるだけのような気もします。キッズコーナーに関わるようになって10年、子ども達から元気をもらいながら、今回も反省しきりです。

楽しかったヨ!

4号棟 ますだすずか(2年生)

わたしは、しゃてきやりました。2かいやりましたが、ぜんぜんあたりませんでした。でもたのしかったです。ピンゴもたのしかったです。ふらいばんがあたりました。

大好き夏祭り!

26号棟 福本 柚稀(2年生)

ぼくの大すきなだんちのおまつり。今年もおかあさんが、じゅんぴにさんかしたりと、かぞくでたのしみにしていました。しゃてきやわなげは大すきで、何回もやりました。かきごおりはやすいしおいしかったです。

今年、ぼくたちの見まもりをしてくれる見まもりたいが、「さつきしょう」をもらっていました。ぼくもうれしかったです。まい年まい年ビンゴやくじびきははずればかりなので、らいねんはビンゴあてたいです。